

2016 年度 九州大学 前期 世界史

〔1〕 イギリスの世界経営と狭小な植民地の意味

出題範囲	近代の経済・外交史
難易度	★★★★☆☆
所要時間	40 分
傾向と対策	帝国主義時代におけるイギリスの世界経営について問う問題。シンガポール、ジブラルタル、スエズ運河が共通してもつ意味は、参考地図もついていることから容易に考えついただろう。むしろ、イギリスの世界経営や帝国主義時代に関する理解が問われている問題である。各国の歴史を個々に把握する小さな視点のみならず、世界全体に共通する時代ごとの傾向をつかむ大きな視点をもって勉強することを心掛けたい。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句や内容を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句または内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

《字数について》

マス目付き解答欄について、英字・算用数字は「1 マスにつき最大 2 文字」書くことを前提として計算した

例 800 年の場合

80	0	年
8	00	年

1200 年の場合

12	00	年
----	----	---

ASEAN の場合

AS	EA	N
----	----	---

解答例

19 世紀後半、第 2 次産業革命が進展する中で、イギリスの圧倒的な工業力を前提とした自由貿易体制は変容を迫られ、1873 年の大不況後、各国は保護貿易主義を採用し始めた。イギリスは製品の市場として、また資源の供給地としてインドをはじめとする広大な植民地の獲得に乗り出した。この帝国主義時代において、シンガポール、ジブラルタル、スエズ運河といった狭小な植民地は共通して海上交通の要所に存在し、市場として領域化した植民地とイギリス本国をつなぐ物流の拠点としての意味を有した。南シナ海とインド洋の結節点に存在するシンガポールは中国貿易における中継地になるとともに、海峡植民地の 1 つとして、マレー連合州からの錫やゴムを集積し出荷する拠点ともなった。スエズ運河はイギリスとインドを結ぶ航路の要衝として機能した。大西洋と地中海の結節点にあたるジブラルタルはケープ植民地からの金やダイヤモンド、エジプトからの綿花を集積し、アジア・インドとイギリス本国を結ぶ貿易の中継地となった。また、イギリスは広大な市場の確保を目的に中国への進出を強めていたが、南京条約で獲得した香港は、茶や絹を中心とする中国貿易の拠点となった。(494 字)

設問の要求**字数** 500 字以内**主題** イギリスの世界経営においてシンガポール、ジブラルタル、スエズ運河が共通して有する意味を説明する**条件** 上記 3 カ所と同じ意味を有する他の植民地の事例を挙げる

9 つのキーワードを必ず 1 回は使用し、その箇所に下線を引く

解説

本問の要求は、イギリスの世界経営においてシンガポール、ジブラルタル、スエズ運河といった狭小な植民地がもつ意味を説明せよというものである。この問題の要求上、「イギリスの世界経営」を帝国主義時代という時代設定も踏まえて理解しておく必要がある。

19 世紀後半から始まる帝国主義時代とはどのような時代か。18 世紀前半に産業革命を果たしたイギリスは、綿織物業・製鉄業・機械工業などの分野で安価な製品を大量生産して国内市場に供給するとともに他の国々に輸出する体制を整えた。結果、19 世紀半ばには「世界の工場」の地位を得て、イギリス中心の自由貿易体制が確立した。しかし 19 世紀後半からは第 2 次産業革命とともに他国の工業化も一定の成果を獲得し、1873 年の大不況後には保護貿易主義をとる国家が増えていった。欧州の各国は産業・金融資本の投下先として、また一次産品の供給地として植民地を求めるようになった。これが帝国主義時代の幕開けである。

この帝国主義時代という背景を踏まえて 19 世紀末から 20 世紀初めの「イギリスの世界経営」を考える。自由貿易主義を奉じていたイギリスの工業力にも陰りがみえ始めたことで、イギリスも他国と同様、インドのような「広大な植民地」を求め、1877 年にはインド帝国を樹立した。80 年代にはスエズ運河を支配下におさめ、エジプトを保護国化し、95 年にはマレー半島の海峡植民地（1826 年成立）を足がかりにマレー連合州を結成させた。さらに、99 年にはケープ植民地（1814 年にウィーン議定書でオランダから獲得）から領土を拡大し、南アフリカ戦争を経てトランスヴァール・オレンジ両国を併合した。いずれも貿易拠点の支配のみならず領域的な支配、すなわち植民地獲得を目指した政策である。植民地は資本の投下先、一次産品の供給地として意味をもつ。まとめると下のようになる。

植民地	植民地としての意味
インド	広大な製品市場
エジプト	綿花の供給地
マレー半島	錫やゴムの供給地
ケープ植民地	ダイヤモンドや金の供給地

以上を踏まえてシンガポール、ジブラルタル、スエズ運河に共通する意味を考える。参考地図を見れば、シンガポール、ジブラルタル、スエズ運河がどれも海上交通における要所にあることがわかるだろう。具体的にいえば、シンガポールは南シナ海とインド洋の結節点、ジブラルタルは地中海と大西洋の結節点、スエズ運河は地中海とインド洋の結節点にある。これらの 3 地域はイギリスが植民地に製品を輸出し、植民地から資源を輸入する際に物流の拠点として機能したと考えることができる。

それでは、シンガポール、ジブラルタル、スエズ運河と同じ意味、すなわち植民地とイギリスの間の物流の拠

点としての意味をもつほかの植民地として、何を挙げられるだろうか。イギリスが 19 世紀末から 20 世紀初めにかけて中国への進出を強めたという基本的な事実を想起できれば香港を思い浮かべることができるだろう。イギリスは中国に市場・資本の投下先としての価値を見出し、アヘン戦争講和の南京条約（1842 年）で香港島を獲得した。続くアロー戦争で中国の開国と領土分割を進め、鉄道などの資本も投下した。香港は中国とイギリスをつなぐ物流の拠点となったのである。

イギリスの世界経営においてシンガポール、ジブラルタル、スエズ運河が共通してもつ意味のみを記すならば 500 字に達しない。指定語句からみても、個々の植民地に関する具体的な記述を含めた解答を作成すべきである。

（井小路瑞木，林遼河，是永郁治）

2016 年度 九州大学 前期 世界史

〔2〕 中東のイスラーム世界

出題範囲	中世～近代の政治・社会史
難易度	★★☆☆☆
所要時間	35 分
傾向と対策	提示された史料から内容を正しく読みとる力が要求された。正統カリフ時代から初期のトルコ共和国の時代までと、問われている時代の範囲が広いように感じられるが、時代ごとの要点について問われているので、正確に知識を身につけていれば容易に解答できただろう。問5では近年の出来事についてもふれられている。このような問題では、常に最近の出来事に対して気を配っておくことが解答の助けとなるだろう。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句や内容を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句または内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

《字数について》

マス目付き解答欄について、英字・算用数字は「1 マスにつき最大 2 文字」書くことを前提として計算した

例 800 年の場合

80	0	年
8	00	年

1200 年の場合

12	00	年
----	----	---

ASEAN の場合

AS	EA	N
----	----	---

解答

問 1. 正統カリフ時代

問 2. シーア派

問 3. スンナ派と対立する少数派で、アリーとその子孫のみを共同体の正統な統治者と認めた。(40 字)

問 4. カリフは、正統カリフ時代は選挙で選出されたが、661 年のウマイヤ朝成立以降は世襲された。8 世紀に成立したアッバース朝では単独のカリフが統治を行ったが、10 世紀にファーティマ朝と後ウマイヤ朝がそれぞれカリフを擁立し、カリフの政治的権威は後退した。アッバース朝カリフは 11 世紀にセルジューク朝にスルタン位を与えて政治的実権を失い、13 世紀のアッバース朝滅亡以降はマムルーク朝の庇護下で宗教的権威として利用された。(200 字)

問 5. クリミア半島

問 6. ムスタファ＝ケマル（別解：アタテュルク）

問 7. ①, ③, ⑤

問 8. イギリスはアラブ人とフサイン・マクマホン協定を結び、戦争協力を条件に戦後のオスマン帝国からの独

立を約した。またフランス・ロシアと秘密協定であるサイクス・ピコ協定を結び、トルコ分割とパレスチナの国際管理を定めた。さらにバルフォア宣言でユダヤ人のパレスチナでの建国を支持し、ユダヤ人の協力を得ようとした。(150 字)

問 1. 難易度：★★★★☆

解答

正統カリフ時代

解説

ムハンマドの死後、ムスリム（イスラーム教徒）はアブー＝バクルをカリフに選出し、以来ウマル、ウスマーン、アリーがムスリムの選挙でカリフに選出された。これら 4 代のカリフの統治時代（632～61 年）を**正統カリフ時代**という。

問 2. 難易度：★★★★☆

解答

シーア派

解説

第 4 代カリフのアリーはカリフ権をめぐるムスリム間の対立から暗殺され、彼と敵対していたシリア総督**ムアウィヤ**が 661 年に**ウマイヤ朝**を開いた。アリーを支持する教徒たちは、アリーの子孫だけがムスリムの共同体（ウンマ）を指導する資格があると主張して**シーア派**を形成した。

問 3. 難易度：★★★★☆

解答例

スンナ派と対立する少数派で、アリーとその子孫のみを共同体の正統な統治者と認めた。(40 字)

設問の要求

字数 40 字以内

主題 シーア派の性格

解説

シーア派は、第 4 代**正統カリフのアリーとその子孫のみにムスリム共同体（ウンマ）を指導する資格があると主張するイスラーム教内の少数派**であり、7 世紀に宗派として確立した。シーア派は、ムハンマド以降の代々のカリフの政治的権威を認め『コーラン』やムハンマドの言行（**スンナ**）を重要視するイスラーム教内の**多数派（スンナ派）と対立した**。現在ではムスリムの約 1 割がシーア派で、イラン、イラク、レバノンなどに居住している。

問 4. 難易度：★★★★☆

解答例

カリフは、正統カリフ時代は選挙で選出されたが、661 年のウマイヤ朝成立以降は世襲された。8 世紀に成立したアッバース朝では単独のカリフが統治を行ったが、10 世紀にファーティマ朝と後ウマイヤ朝がそれぞれカリフを擁立し、カリフの政治的権威は後退した。アッバース朝カリフは 11 世紀にセルジューク朝にスルタン位を与えて政治的実権を失い、13 世紀のアッバース朝滅亡以降はマムルーク朝の庇護下で宗教的権威として利用された。(200 字)

設問の要求

字数 200 字以内

主題 正統カリフ時代からアッバース朝滅亡にかけてのカリフ制の変容

条件 指定語句を使用する

解説

初代カリフの**アブー＝バクル**や第 4 代カリフの**アリー**の名から、史料 1 は彼らが統治を行った正統カリフ時代(632～61 年)に関するものと判断できる。また、**フラグ**がモンゴル軍を率いて**アッバース朝**の首都**バグダード**に侵攻し、同朝を滅亡させた歴史的事実を想起すれば、史料 2 はアッバース朝の滅亡(**1258 年**)に関するものと判断できる。したがって、解答では 7～13 世紀のカリフ制の変容について記述すればよいとわかる。

指定語句も参考にして考えると、カリフ制の変容を記述せよという設問の要求に対して、ウマイヤ朝、アッバース朝におけるカリフ制のあり方や、アッバース朝、後ウマイヤ朝、ファーティマ朝にカリフが^{ていつ}鼎立した 3 カリフ時代について書けばよさそうだと判断できる。また、マムルーク朝という指定語句はアッバース朝滅亡後のカリフ制について記述する際に用いられよう。

以上のことを前提に、カリフ制の変容について記述する。

- ① 正統カリフ時代には、カリフは**ムスリムの選挙**によって選出された。
- ② アリーの死後、661 年にムアーウィヤがカリフとしてウマイヤ朝を創始し、以降カリフ位は世襲となった。**750 年**にウマイヤ朝が滅亡してアッバース朝が成立しても**世襲カリフ制**は継続した。
- ③ ウマイヤ朝滅亡後、アッバース朝治世下ではカリフは政治的権威を認められていたが、10 世紀に成立したファーティマ朝はアッバース朝カリフの権威を認めず、新たにカリフを擁立した。これを受け、後ウマイヤ朝もカリフを擁立し、**単独のカリフがウンマを統治する制度は崩れて 3 カリフの鼎立状態となった**。
- ④ 11 世紀にセルジューク朝がバグダードに入城すると、カリフは**スルタン**の称号を公式に与え**政治的実権を失った**。
- ⑤ 13 世紀、フラグに率いられたモンゴル軍の侵攻によってアッバース朝は滅亡し、カリフは殺害された。カリフの子孫は**マムルーク朝に保護されたが宗教的権威として利用され**、以降カリフは宗教的権威として存続した。

問 5. 難易度：★★★★☆

解答

クリミア半島

解説

キプチャク＝ハン国の滅亡後、クリミア半島にはオスマン帝国の宗主下でクリム＝ハン国が繁栄したが、1783年にロシアに併合された。1853～56年のクリミア戦争では、セヴァストポリ要塞をめぐるロシアとオスマン帝国、イギリス、フランスが激しく争った。ロシア帝国の滅亡後、クリミア半島の管理権はソヴィエト連邦に引き継がれた。1954年にはロシアからウクライナへと管理権が移管され、1991年のソヴィエト連邦の崩壊に伴ってウクライナの管轄下に入った。2014年にはクリミア半島の領有をめぐるロシア連邦とウクライナの間で争いが生じた（クリミア危機）。

問 6. 難易度：★★★★☆

解答

ムスタファ＝ケマル（別解：アタテュルク）

解説

トルコ共和国の成立後、初代大統領となったムスタファ＝ケマルは近代化（脱イスラーム化）を推進し、カリフ制の廃止やイスラーム裁判の廃止によって政治と宗教の分離を図った。

問 7. 難易度：★★★★☆

解答

①, ③, ⑤

解説

トルコ革命でスルタン制を廃止し（オスマン帝国の滅亡を意味する）、トルコ共和国を成立させたムスタファ＝ケマルは国内の近代化を推進し、カリフ制廃止によって政教分離を、一夫一妻制の樹立や女性参政権の承認などにより女性解放を、アラビア語を廃止してローマ字を採用する文字改革により教育改革を図った。また1923年にはセーヴル条約の破棄とローザンヌ条約の締結に成功し、完全な主権を回復してトルコの独立を維持した。

問 8. 難易度：★★★★☆

解答例

イギリスはアラブ人とフサイン・マクマホン協定を結び、戦争協力を条件に戦後のオスマン帝国からの独立を約した。またフランス・ロシアと秘密協定であるサイクス・ピコ協定を結び、トルコ分割とパレスチナの国際管理を定めた。さらにバルフォア宣言でユダヤ人のパレスチナでの建国を支持し、ユダヤ人の協力を得ようとした。(150字)

設問の要求

字数 150字以内

主題 パレスチナをめぐるイギリスの3つの外交政策

条件 イギリスがどの集団に対してどのような外交政策を行ったか言及する

条約名などに言及する

解説

パレスチナをめぐるイギリスの3つの外交政策とは、**フサイン・マクマホン協定**、**サイクス・ピコ協定**、**バルフォア宣言**である。

上記の外交政策の対象・内容について明らかにする。

フサイン・マクマホン協定

【対象】 **アラブ人**

【内容】戦争協力を条件にアラブ人居住区の独占と**オスマン帝国からの独立を認める**と約束した。

サイクス・ピコ協定

【対象】 **フランス・ロシア**（三国協商国）

【内容】戦争終結後の**オスマン帝国領の分割**に関する秘密協定。イギリス・フランス・ロシアの3国でアラブ人居住区を分割することを定め、パレスチナは国際管理とした。

バルフォア宣言

【対象】 **ユダヤ人**

【内容】ユダヤ人の戦争協力を得るため、ユダヤ人の**パレスチナでの建国運動（シオニズム）**を支持した。

（的場光紀，井小路瑞木，是永郁治）

2016 年度 九州大学 前期 世界史

〔3〕 異文化接触

出題範囲	古代～近代の文化史
難易度	★★★★☆☆
所要時間	10 分
傾向と対策	この大問では、幅広い時代・地域の文化について問われた。とはいえ、一問一答問題または記号問題から構成されており、すべて教科書レベルの基本問題であるので、全問正解を目指したい。問 4 の雲崗石窟寺院のように、漢字がやや難しいものもあるので注意しよう。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句や内容を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句または内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

解答

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 問 1. ヒッタイト人 | 問 2. フェニキア人 |
| 問 3. コイネー | 問 4. 雲崗石窟寺院 |
| 問 5. (1)ネストリウス派 (2)景教 | 問 6. (1)ヴァルダナ朝 (2)ナーランダー僧院 |
| 問 7. ソグド人 | 問 8. ② |
| 問 9. スワヒリ語 | 問 10. トレド |
| 問 11. ① | 問 12. サンスーシ宮殿 |
| 問 13. フィリピン | |

問 1. 難易度：★★★★☆☆

解答

ヒッタイト人

解説

ヒッタイト人は鉄を実用化して**鉄製武器を初めて使用した**民族であり、都をハットウシャ（ボアズキョイ）においた。彼らは**古バビロニア王国**を滅ぼしたが、**海の民**によって滅亡した。なお、海の民とは B.C.13 世紀末～B.C.12 世紀初めにかけて、東地中海一帯を攻撃し広い地域を混乱させた民族の総称で、民族系統は不明である。

問 2. 難易度：★★★★☆

解答

フェニキア人

解説

フェニキア人はシリア沿岸部に居住し、シドンやティルスなどの都市国家を中心とした地中海交易を行った。なお、彼らがエジプトの象形文字であるシナイ文字を起源として作成したフェニキア文字は、アルファベットの原型になった。

問 3. 難易度：★★★★☆

解答

コイナー

解説

ヘレニズム世界では、コイナーとよばれるギリシア語が普及し、新約聖書にも使われた。またヘラクレイオス 1 世の治世に、ラテン語に代わってビザンツ帝国の公用語となった。

問 4. 難易度：★★★★☆

解答

雲崗石窟寺院

解説

北朝時代につくられた石窟寺院として、覚えるべきものは 3 つある。1 つ目は、甘肅省の西端にある敦煌石窟寺院。これは北魏から元の時代に開かれ、仏像やその衣服には西洋様式がみられる。2 つ目は、山西省大同の西方にある雲崗石窟寺院。これは北魏の文成帝の命令を受け開削されたもので、ガンダーラ・グプタ様式の流れをくむ北魏様式でつくられた。3 つ目は、洛陽の南方にある竜門石窟寺院。これは北魏が平城から洛陽へ遷都したあとに孝文帝が造営したもので、中国風の仏像がつけられた。

問 5. 難易度：★★★★☆

解答

(1)ネストリウス派 (2)景教

解説

- (1) ネストリウス派は、イエスの人性と神性は分離しているという説を信奉する宗派。431 年のエフェソス公会議で異端とされた。
- (2) 唐代の中国に伝わったおもな西方宗教として、^{けんきょう}祆教（拝火教、ゾロアスター教）、摩尼教（マニ教）、景教（ネストリウス派キリスト教）、回教（イスラーム教）がある。

問 6. 難易度：★★★★☆

解答

(1)ヴァルダナ朝 (2)ナーランダー僧院

解説

- (1) 世界史において覚えるべき渡印僧は2人いる。1人目は玄奘^{げんじょう}。唐代の僧でヴァルダナ朝期のインドに赴き、ハルシャ＝ヴァルダナ王の厚遇を受けた。玄奘は往路・復路ともに陸路を用い、帰国後に『大唐西域記』を著した。2人目は義浄。唐代の僧で分裂期のインドに赴いた。義浄は往路・復路ともに海路を用い、帰路の途上にスマトラ島のシュリーヴィジャヤ王国に立ち寄って『南海寄帰内法伝』を著した。
- (2) ナーランダー僧院はグプタ朝期に建立され、仏教学の中心地として発展した。玄奘と義浄もここで学んだ。

問 7. 難易度：★★★★☆

解答

ソグド人

解説

ソグド人は、中央アジアのサマルカンドを中心としたソグディアナ地方を原住地とするイラン系の民族。商業活動に従事し、突厥の保護下で東西交易を行った。ちなみに、安史の乱を起こした安祿山と史思明はソグド人と突厥の混血だと伝えられている。

問 8. 難易度：★★★★☆

解答

②

解説

- ① チュノム（字喃）は、ヴェトナムの陳朝で漢字をもとにしてつくられた文字である。
- ② パスパ文字は元朝において、フビライ＝ハンの命令を受けたパスパがチベット文字をもとにしてつくった文字。なお、チベット文字は、インドで4世紀ごろに生まれたグプタ文字をもとにしてつくられた。よって、これは漢字の影響を受けていない。
- ③ 契丹文字はウイグル文字をもとにしてつくられた文字で、漢字の影響を受けている。
- ④ 女真文字は、漢字と契丹文字をもとにしてつくられた文字である。
- ⑤ ひらがなは万葉仮名をもとにしてつくられた文字で、漢字の字体を簡略化したものである。

問 9. 難易度：★★★★☆

解答

スワヒリ語

解説

モンバサ・キルワ・ザンジバル・マリンドイなどのアフリカ東岸部の都市は、ムスリム商人のインド洋交易によって海港都市として発展した。ここでは、ムスリム商人のアラビア語と土着のバントゥー語が融合してスワヒ

リ語が成立した。なお、スワヒリ語は現在タンザニアやケニアなどで使用されている。

問 10. 難易度：★★★★☆

解答

トレド

解説

トレドは、かつての西ゴート王国の都で、現在はスペイン王国の都市である。トレドやシチリア島を通して、キリスト教世界にイスラーム文明が伝わった。

問 11. 難易度：★★★★☆

解答

①

解説

14 世紀末に建国された朝鮮王朝とは、李成桂が 1392 年に高麗に代わって建国した王朝である。なお、中国の正統学問とは儒学のことである。

- ① 科挙とは、隋の楊堅が創始した試験による官吏登用制度で、儒学が必修科目の 1 つであった。儒学の教えである上下秩序の弁別や徳治主義は、歴代中国皇帝が君主として国を統治する根拠として使われ、儒教は中国の官学とされた。朝鮮王朝は明に倣って科挙制度を整備した。
- ② 骨品制とは、朝鮮半島の古代国家である新羅（4 世紀半ば～935 年）で導入された身分制度である。出身氏族によって身分を 5 段階に区別し、官職・婚姻などを規制した。
- ③ 大蔵経とは経・律・論の三蔵を中心とした教聖典の叢書。高麗版大蔵経は有名である。
- ④ 高麗青磁とは朝鮮の高麗時代に流行した磁器で、宋の青磁の技法を学び、朝鮮人が作成したもの。

問 12. 難易度：★★★★☆

解答

サンスーシ宮殿

解説

サンスーシ宮殿は、現ドイツのベルリン郊外にある。ロココ様式とは、バロック様式のあとを受け、繊細・優雅な装飾性を特徴としている。ロココ様式の代表的建築物はサンスーシ宮殿、ロココ様式の代表的美術家はワトー（代表作は『シテール島の巡礼』）やフラゴナール（代表作は『ぶらんこ』）。

問 13. 難易度：★★★★☆

解答

フィリピン

解説

東南アジア諸国において多数派となっている宗教には、次のようなものがある。

- ・キリスト教…フィリピン
- ・イスラーム教…マレーシア・インドネシア
- ・仏教…タイ・ベトナム・カンボジア

(佐野来実, 町田佳奈子, 林遼河)